

あなたの知らない

京大図書館



皆さんは大学の図書館をどれくらい活用していますか？ 毎日通っている方から、全く利用しない方までいるでしょう。しかしどんなに活用している人でも、附属図書館のようなメジャーな図書館と自分の学部の図書館しか利用したことがないのではないのでしょうか。この記事では、多くの方が行ったことのないであろう図書館を3つ紹介したいと思います。(けいた)

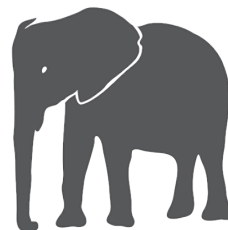
大学院アジア・アフリカ地域研究研究科図書館



本部構内の奥、総合研究2号館にアジア・アフリカ研（通称アア研）の図書館があります。ここは特に西アジア・南アジア専門で、アア研には他に東南アジア専門・アフリカ専門の図書館もあります。ごんまりとして見えますが、蔵書の大部分を附属図書館に置いているだけで、アラビア語文献の蔵書数は日本一です。研究室の先生がフィールドワークに行った現地で購入した本も多く、アラビア語の他にもシンハラ語やネパール語など普段見ない言語の図書も豊富にそろえてあります。また、これらの言語の学習教材と学習スペースも充実しているので、言語学習に興味のある方はぜひ訪れてみてください。

理学研究科・理学部生物科学専攻図書室

理学部2号館1階に入って左側に事務室のような部屋があります。しかし、よく見ると部屋の奥が雑多なもので溢れかえっていることに気がきます。松ぼっくり、何かの動物の頭骨、謎の置物 etc.....。そして、その奥に地下の図書室に下る階段があるのです。蔵書は半数以上が英書で、特に学術論文をまとめた図書が多く並び、理系の図書室らしい雰囲気を醸し出しています。棚と棚の間にはクッション系の椅子が用意されており、長時間利用しやすくなっています。入り口の雑多な感じと地下の図書室らしい静謐さが相まって、なんとも魅力的な空間になっています。興味がわいた方はぜひ覗いてみてください。



教育学研究科・教育学部図書室



教育学部図書室は教育学部本館にあります。1階は受付と事務室になっているのですが、地下にある図書室は1階の様子からは想像できないほど広く、スタックランナー（可動式の本棚）がずらりと並びます。「月刊生徒指導」等の雑誌や過去何十年分の指導要綱のまとめなどの教育学部らしい図書だけでなく、哲学・文学・歴史・自然科学など多岐にわたる分野の本もそろえてあります。また、満州で発行された外地版朝日新聞のような貴重資料も閲覧できます。大机と椅子が用意してある検索・閲覧スペースもあります。このように、幅広い分野の本をそろえた図書室なので、教育学部生でない方もぜひ利用してみてください。

京大には今回紹介した3つ以外に、40か所の図書館があります。それぞれの図書館に違った魅力があると思います。ぜひ色々な図書館を訪れてみてください！ あなたのお気に入りの図書館に出会えるかも.....？